

読書の秋といえば…NISHIHARA LIBRARY！

5月から園内で貸出図書を始めました。その名も「NISHIHARA LIBRARY」！
既に利用されている方もいらっしゃいますね。いつもありがとうございます！

11月～貸出方法が少し変更になりますのでご説明します。

インフォメーションコーナーに、今月の貸し出し絵本一覧の紙と貸出図書のカードが入ったケースが置いてあります。（毎月の貸し出し絵本は20冊です）

◎借りる＝借りたい絵本の番号と同じ番号のカードを事務所に持って行く

◎返す＝絵本を事務所に返し、カードを貰い、元の場所（インフォメーション）へ戻す

貸し出し期間は3日間、借りられる絵本は一人1冊です。

（木・金曜日に借りた方は月曜日に返却ください）

10月24日現在で今月は56人が利用しており、貸し出した絵本は延べ646冊になりました。

10月の貸し出しリストにある絵本のうち、よく借りられているベスト3をご紹介します！

第1位「こんとあき」

第2位「メロンパンツ」

第3位「まほうでなんでやねん」

来月はどんな絵本が出てくるのか、どうぞお楽しみに！



■1か月に読む本の冊数「読まない」が6割超

文化庁では、国語施策の参考とするのを目的に、
平成7年度から毎年「国語に関する世論調査」を実施しています。
令和5年度に実施した結果のまとめを見てみると…

1か月に読む本の冊数についての質問では、「読まない」が62.6%、1冊以上読むと答えた人の割合が合わせて36.9%となっています。

平成30（2018）年度は「読まない」が47.3%、1冊以上読むと答えた人の割合が合わせて52.6%でした。※調査方法が変わったため、令和元年度以前の調査結果は参考値として比較しています。

■読書量が減っているのはなぜ？

- ・16～30代では「情報機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機等）で時間が取られる」ことを6～7割の人があげています。
- ・20～40代では、「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」が6割以上にのびります。
- ・60代・70代になると視力の低下など健康上の理由がかなりの割合を占めます。

■読書は必要なのか

ネットで「なぜ読書が必要か」と検索したところ、メリットについて多くの結果が表示されました。

- ・知識や教養が身につく
- ・読解力や記憶力、論理的な思考力、集中力が養われる
- ・想像力や語彙力、表現力が豊かになる
- ・リラックス効果、リフレッシュ効果が得られる などなど。

中には「加齢による認知力の低下を防ぐ」などのメリットも記載されていました！

また、上記の効果はコミュニケーション能力の向上にもつながっていきます。

読書には、学習能力や生きていくために必要な力の向上、人生を豊かにする効果が期待できるというわけです。

絵本に関しては、読み継がれてきた作品も大切にしていきたいと感じています。

私としては、現実ではあり得ないような、ファンタジーの要素が入っている作品を子ども時代にはたくさん楽しんでほしいと思っています。

子ども達は絵本が大好き！保護者の方もどうぞ一緒に楽しんでください。

在園のご家庭や地域の皆様の潤いになれますよう、これからも蔵書を増やしていきます。

「NISHIHARA LIBRARY」ぜひご活用ください！

（大屋）